

神の家を忠実に治める

2024年4月28日

ヘブル人への手紙 3章1～6節
出エジプト記 40章

序：1章では、キリスト＞御使い 比較され、キリストの至高性が述べられていた
3章のこの箇所では、キリスト＞モーセ 卓越性

I. ヘブル書の記者と読者

ともに、天の神の召しにあずかっている聖徒、神の子同士、兄弟

勧め：専ら、イエスのことを考えよ



父から遣わされた預言者（使徒）

大祭司（神と人との仲介者）

記者も読者もイエスを信じ、告白している

神の完全な現れ

民の贖いを完うされた方

II. モーセとイエスの比較

モーセ
予型

<

イエス
実体

神の御旨を受けた
イスラエルの救済と指導を委託された
イスラエルの家における忠実さ
幕屋・神政体制
彼自身もそこに属す・仕える
神と民の双方から信頼された
神の家の中
務めゆえの栄光
しもべ

神ご自身の現れ
イスラエルの上に立って治める
父なる神への忠実さ

イエスはそこに属さない
父から全権委任・派遣
神の家の上
父と等しい神の栄光
相続者

家
人

<

家を建てる人
創造主

III. キリストはモーセにまさる方

(1)忠実さにおいて（神の家を治める）
王・君臨
相続者

⇔ （神の家の中で仕える）
しもべ
属する人

(2)父に子として仕える

主人に僕として仕える

(3)大いなる栄光（建てる人）

劣る栄光（建てられる家に属す）

Ⅳ. 聖徒たちへの恩恵

- (1)旧約のイスラエルは、モーセの指導の下で、彼の忠実な奉仕によって、神の恵みを受けたが、キリストの初臨後は、キリストの忠実さのゆえに、救いの恵みにあづかることができるようになった（贖いの御業を信じて）

ヨハネ 1・17

律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。

- (2)その恩恵にあづかるには、神の家である聖徒たちが確信と希望を持続して持つことが必要

父から遣わされた預言者、罪人のために贖いを全うされた大祭司、救われた民の王であるキリストに信頼し続け、主と告白して止むことなく歩むことが求められる

コリントⅠ 13・13

こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛です。

まだ見ぬ御国、救いの完成への途上の歩みは、確かに信仰と希望そして愛が必要

ヘブル 2・11

聖とする方	も	聖とされる者たち	も、	みな一人の方から出ています。
キリスト		聖徒たち		父なる神
御子・長子		兄弟たち		

それゆえ、イエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥とせず・・・

Ⅴ. 結び

- (1)キリストとモーセの比較で、キリストの卓越性とその神性にあることがわかった
- (2)神の家に仕える者に求められるのは忠実さ、それも奉仕そのものに対する以上にその務めを下さった主、神への忠実さ
- (3)忠実さは盲信に基づかない、主への信頼と御国への希望に基づく
- (4)イエス・キリストは贖い主、神であられるにもかかわらず、聖徒たちの長兄と呼ばれることを恥とされない（同じ父から生まれた子同士）
- (5)私たちはその神の召しにより、聖とされたので、イエスを主と告白し続け、みことばどおりに歩む